



夏休みも終わり、朝晩は涼しくなってきました。夜には月が美しく輝く季節です。月は地球にいちばん近い天体です。かつては世界各地で月の満ち欠けに基づいた暦が使われていて、月はいまよりもっと身近な存在でした。日本でも、月が出る時間をもとにした「十六夜月」や「立待月」、「臥待月」などの呼び名があります。今夜は月をながめてみませんか。

写真で見る俳句歳時記 秋
監修：長谷川秀一 原雅夫 小峰書店より

うづくまる 猫の宵寝も 無月かな
松本 たかし

人それぞれ 書を読んである 良夜かな
山口 青邨

待宵は ものの飾も なかりけり
稲山 梓月

いざよひや 闇より出づる 木々の影
三浦 樽良

名月や 池をめぐりて 夜もすがら
松尾 芭蕉

返し忘れていた
本が家に
ありませんか？



夏休み前貸出の本の返却期限は9月8日(月)です。

9月生まれです！



魯迅

ろ じん
1881-1936

中国浙江省紹興生まれ。1902年、国費留学生として日本に留学。仙台医学専門学校(現在の東北大学医学部)に入学するも、体の治療よりも文学を通して精神の改革を優先するべきだと考え、医学専門学校を中退。東京で文学運動の雑誌の企画やロシア文学の翻訳などをおこなった。1909年中国に帰り杭州で師範学校の教員につく。主な作品は「狂人日記」「阿Q正伝」など。三年生の国語の教科書に『故郷』が掲載されています。

新刊

『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴：著 488ス 小学館

一年生の国語の教科書に“『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ”という单元があるので、内容をおぼえている人も多いと思います。本書では著者がどのようにしてシジュウカラに興味を持ったのか、調査研究の地道な作業を心から楽しむ様子、研究が認められていく過程などが事細かに書かれています。みなさんも好きなことを見つけてのめり込むことができるといいですね。

『それいけ！平安部』

宮島未奈：著 913ミ 小学館

高校に入学していきなり「平安部」を創部することに誘われてしまう葉。「平安部」って何するの？からはじまり、その割にはとんとん拍子に部員を勧誘してよいよ活動開始となります。とはいえ、部員は平安時代に興味も知識もない子ばかり。一見ばらばらな部員は「平安部」でどんな活動をするのでしょうか。

『なるにはBOOKSシリーズ』

ペリかん社

職業調べでお世話になる、「なるにはBOOKS」のシリーズ。職業の情報はどんどん新しくなるので買い替えをおこないました。このシリーズのものは新刊コーナーに別置せず、いつもの職業コーナーの棚に置いています。ぜひ興味のある職業のものを手に取ってみてください。